

乳がんと遺伝

今回は、乳がんに関して最新のデータに基づき遺伝性乳がんを中心にお伝えいたします。

1. 日本女性の乳がんデータ

日本女性の場合、30歳代から40歳前後で急激に増加し、40~60歳代が罹患のピークです(表1)。その他のがんと比べて比較的若い世代で多いのが特徴で、まれに男性でも罹患することがあります。日本では毎年9万人以上が新たに乳がん罹患しており日本女性が罹患するがんの中で1番多くなっております(表2)。更に年々増加傾向にあり、生涯で9人に1人が乳がん罹患する計算となります。

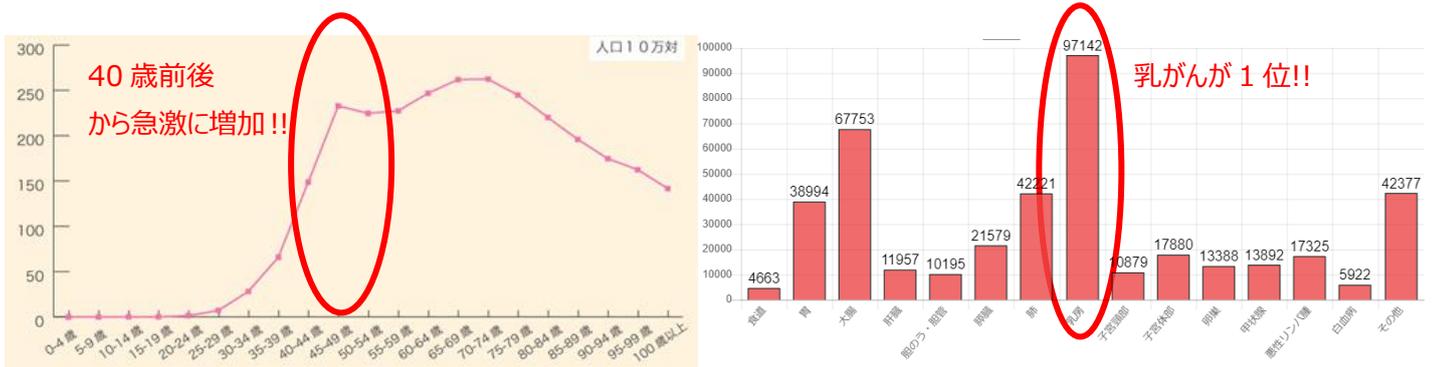


表1 乳がん年齢階級別罹患率 2019

表2 部位別がん罹患数 2019

表1、2共に、出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

2. 乳がん Q&A

<日本で乳がんが増えているのはなぜ?>

乳がんの発生や増殖には「エストロゲン」とよばれる女性ホルモンが深く関わっています。乳がんが増加している背景には、女性の社会進出に伴う生活習慣の変化などにより、乳腺がエストロゲンにさらされている時間が長くなったことが要因として考えられています。

<乳がんのリスク要因は?>

- 40歳以上
- 初潮が11歳以下
- 閉経が55歳以上
- 初産が30歳以上、または出産経験がない、授乳経験がない
- 飲酒や喫煙習慣がある
- 閉経後の肥満
- 血縁者に乳がん罹患した人がいる

月経の回数が多い人ほどエストロゲンの分泌が増え乳がんになりやすいと言えます。



誰にでもリスクはありますが、左記項目が乳がんを発生するリスクを高めると考えられており、該当する方は特に注意が必要です。

<乳がんは遺伝する?>

乳がんを発症した方のうち、7~10%は遺伝性の乳がんと考えられています。血縁関係の近い親類に乳がんや卵巣がんの方がいる場合は、いない場合と比べて乳がんを発症するリスクが高くなることが知られています。ただ、必ず遺伝するわけではなく、遺伝性の可能性があるかどうかは、「BRCA 遺伝子検査」などの専門的な評価を行って判断します。

3. 遺伝性乳がんについて

遺伝性の乳がんにもいくつか種類がありますが、現在明らかになっている中で最も多いのが「遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)」です。HBOCは、「BRCA1」または「BRCA2」という遺伝子に生まれつき変異があり、乳がんだけでなく、将来的に卵巣がんを発症するリスクが高いことも知られています。

<遺伝性乳がん卵巣がん症候群の特徴>

- 若い年齢での発症
- 両方の乳房にがんがしやすい
- 乳がんの発症リスクが6~12倍に高まる
- 卵巣がん(卵管がん・腹膜がんを含む)の発症リスクが高まる
- 男性の乳がん、すい臓がん、前立腺がんの発症リスクが高まる

数年前、乳がん予防のために乳房を切除したアンジェリーナ・ジョリーさんも、自身が HBOC であることを告白しています。



乳がんと診断された方のうち、以下の条件に1つでも当てはまれば BRCA1/2 遺伝子検査が保険適用となります。

<BRCA1/2 遺伝子検査の保険適応条件>

- 45歳以下での発症
- 60歳以下でトリプルネガティブタイプ(ホルモン受容体も HER2 も陰性)の乳がんを発症
- 2個以上の乳がん(再発は含めない)を発症
- 卵巣がん(卵管がん・腹膜がんを含む)を併発している
- 3親等以内に乳がんや卵巣がんを発症した血縁者がいる
- 男性乳がん

乳がんと診断された方で、BRCA1/2 遺伝子に変異があることが検査で明らかになった場合、リスク低減手術(がんを発症していない反対側の乳房や卵巣も手術で予防的に切除すること)を検討することがあります。2020年4月からは、このリスク低減手術にも健康保険が適用されることになりました。なお、日本でこうした予防的な手術に健康保険が適用されるのは、HBOC が初めてのことです。

4. 予防と乳がん検診

日本人を対象とした研究では、乳がんを予防するためには、節酒および閉経後の肥満を避けるために体重を管理し、適度な運動を行うことがよいと考えられています。

乳がんは、早期に発見すれば90%の方が治る病気です。

早期の段階では自覚症状が現れないことも多いですが、場合によってはしこりなど乳房の



変化に自分で気付くことができる可能性のある数少ないがんです。普段からご自身の乳房の状態を知り、ささいな変化にも気付くことができるようにしておきましょう。40歳になったら2年に1回は乳がん検診を受け、症状がないうちに早期発見できるようにしましょう。また、男性も普段から「いつもと変わりないかな」という気持ちでセルフチェックしていくことはとても大切です。



参考:がん情報サービスHP、NHK健康【特集】乳がん情報まとめ、JOHBOC(日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構)HP

~健康保険組合からのお知らせ~

ジェイティービー健康保険組合では女性社員の方を対象に、委託機関(日本健康文化振興会)が提携している全国の医療機関での婦人がん検診を実施しています。受診料の一部を健保組合にて補助いたしますので自己負担額は最大1,050円です。6月~7月に受診された方については自己負担額相当を全額 Pep ポイントにて還元するインセンティブ設定をしていますので、是非受診をご検討ください。「女性社員婦人がん健診」についてはこちら:<https://jtbkenpo.or.jp/katuyou/fujinganken/>